

市長のタウンミーティングでの行政改革の取組に関する主な意見

- ◆実施日 令和元年10月19日(土)～11月29日(金)
- ◆テーマ 「行財政改革の取組」と「新しい市の総合計画の策定に向けて」
- ◆参加人数 13地区 延べ614名

○公共施設見直しについて

- ・総合体育館などの代替施設を確保してほしい。
- ・類似施設があるからという単純な問題ではない。どういう風に代替できるのかといった丁寧な議論が必要ではないか。
- ・公共施設再編については、民間への委託も大いに考えてほしい。
- ・市の資産売却も進めるべきだ。
- ・公園は数が多く売却ができるのであればしてほしい。反対に(集客が多いような)残すべき施設に投資をすることで、大勢の人が来るようになるように工夫してほしい。
- ・利用率が低い施設でも、高齢者の利用はあり、そこに行くことが生きがいになっている。
- ・コミュニティセンター施設化について、人が来やすいように要件緩和をお願いしたい。

○事務事業見直しについて

- ・「こういうことをするので、みなさんこうしましょう。」であってほしい。数値目標を持って、いつまで、誰が、何をするのかを市でも方向性を示してほしい。
- ・人件費より物件費と社会保障費が大きい。スクラップの徹底を。
- ・新しい事業を控えて、身の丈に応じた予算の執行をしてもらいたい。
- ・財政改革の話し合いについて、数字に詳しい税理士や会計士といった中身のわかる人を増やした方がいいのでは。
- ・細かいものでも、助成金・補助金の額が妥当なのかを確認してほしい。

○人件費削減について

- ・民間会社では、給与カットはしてはいけない。給与カット以外の方法も考え、職員のやる気をなくさないように、ワンチームでやってほしい。
- ・人員はコストではなく財産だと思う。職員の削減はできるだけ抑えてほしい。
- ・若者が市のために働こうとして入ったのに、カットすることはおかしいと思う。
- ・職員の削減は必要かもしれないが、常に新しい人材を採用しないとバランスが悪くなる。
- ・給与カットは仕方ないが、成功報酬を出したらどうか。士気を高める必要があるのではないかと。

○歳入増について

市税等の収入について

- ・徴収率 100%となるよう、きちんと徴収してほしい。
- ・人件費を減らす分、人を雇うなどして、ふるさと納税にもっと力を入れてはどうか。

使用料について

- ・学校の体育館を使う際にもいくらか料金をとることにしてはどうか。
- ・使用料について、市外と市内、地元とで差をつけてもいいのではないかな。
- ・現在の利用料が低いのであれば利用料金をあげてもいい。

企業誘致等に関して

- ・敷地内が空いている事業所などに、企業を誘致してはどうか。
- ・固定資産税の税率を、安くするなどの条件をつけ、企業誘致してはどうか。
- ・企業の誘致による収入増も必要では。
- ・日本カーバイド跡の広大な敷地の利用計画はどうなっているかな。
- ・Uターンで帰ってくる若者の職場の確保を。
- ・企業誘致も大事だが、現在、魚津にある会社を離さないような対策を。
- ・早月水系は農業用地の売買が規制されている。まとまった土地を用意して企業を呼ぶ方法はないかな。
- ・遊休地の利活用を考えてはどうか。

その他

- ・市役所前に募金箱を設置して募金してもらい、借金をなくす取組があっても面白い。
- ・桃山運動公園やミラージュランドなどで、冬場の利用方法を考えているのかな。県外の例などを参考にすればよいのではないかな。雪なども利用できればいいのでは。
- ・ゲーム関係について、もっと本格的に力強く魚津はゲームの街ということを打ち出してもいいのではないかな。
- ・保育園や児童館が充実していることを、市としてPRするべき。